



# 前橋育英高校報

題字 中村有三 名誉理事長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

## 見つけよう、輝く夢、輝く自分。



～創立50周年に向けて～  
第1体育館が生まれ変わります！

### CONTENTS



#### 特集

2面

- ・卒業生教諭情報交換会
- ・第1体育館の思い出



#### 保護者会だより 4・5面

- ・進路講演会
- ・合同研修視察旅行
- ・吹奏楽部定期演奏会
- ・スポーツレクリエーション
- ・新生徒会役員



#### 同窓会だより

6面

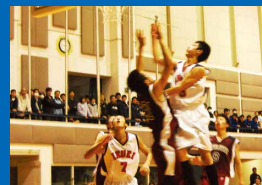
- ・同窓会長挨拶
- ・親子二代同窓生
- ・私の近況報告



#### 後援会だより

7面

- ・後援会長挨拶
- ・総会報告
- ・優秀育英生
- ・コラム育英



#### トピックス

8面

- ・SPP
- ・県教育書道展
- ・保育科観劇教室
- ・軟式野球関東大会
- ・ウィンターカップに向けて
- ・全国私学教育研究集会

#### 進路・スポーツ実績 3面

## 卒業生教諭情報交換会

～教育現場から期待すること～

校長、副校長挨拶の後、自己紹介と近況報告を各先生方からしていただき、その後「教育現場から前橋育英高校に期待すること」について自由に語っていただきました。日頃感じていること、期待していること等々、和やかに会が進行する中で話された内容について、一部紹介させていただきます。

特色を出して欲しいです。



金子 登先生  
(S57卒)

私学の説明会を聞いていると、群馬の私学は仲がよく、お互いに遠慮している面があると思います。公立高校に対しても同様です。公立を抜くことを目指し、



玉田 和彦先生  
(H元年卒)

体育科の3期生として、体育科が無くなってしまうのは寂しいです。体育科があったからこそ世界を見据える選手を輩出できたと思っています。私自身、体育科で指導していただいたことが現在も非常に役に立っています。しかし、スポーツ科学コースへの改組はより上のレベルを目指すために進化したのだと思います。このことを今以上に周知したら、募集活動が拡大するでしょう。

保護者からの質問で私立高校と公立高校の違いは何ですか、という質問を受けることが多々あるのですが、これに対して説明しにくくなっています。育英高校は特に特徴をつかみにくい印象を受けます。中学では常に文武両道を生徒に求めます。高校でも部活動終了後にかつての英数補習のような指導をして貰えればかなり強みになると思います。



小池 和幸先生  
(H6卒)

募集活動についてですが、公立高校は成績重視で合格者を出しますが、私学はあまり成績だけにとらわれる必要はないと思います。色々な生徒をとれる利点を生かし、伸びる可能性のある生徒を受け入れることが大切です。中学の現場には可能性のある生徒が数多くいます。



石原 敬久先生  
(H7卒)

前任校は山間部でしたが成績の優秀な生徒が複数名、前橋育英高校を選びました。最大の理由は部活動の魅力であったと思います。

現在は高崎地区に勤務しているが、圧倒的に市内の私立が強い。前橋育英高校は部活動以外にもっと魅力を打ち出さなければ高崎方面からは行きません。

中学生にとって最大のPRは学校見学会です。パンフレットだけでは伝わらない前橋育英らしさを伝えることができると思います。積極的に呼びかけて欲しいです。

前橋育英は単願生徒に対しての基準(評定・出欠状況)がシビアという印象があり、その面でも他校へ流れる傾向があります。幅

広く生徒を救う措置と、育てる体制を整えてください。

広く生徒を救う措置と、育てる体制を整えてください。

副校長の竹淵先生より  
参加された先生方へ

HP・ブログ等ネットを利用した情報公開は今後益々重要になってくるでしょう。

Q、育英高校の推薦の基準について中学校現場ではどの様に受け止めていますか？

A、小川 真太郎先生(H5卒)  
評定平均は学校間格差が大きく、提示されている基準に柔軟性があるとうかがいます。

Q、生徒募集全般についてお願いします。

A、玉田 和彦先生(H元年卒)  
育英高校は運動部の顧問は別として、それ以外の進路担当同士がもっと連携を密にして進めていく必要があります。

A、齋藤 大輔先生(H5卒)  
私の勤務する中学は駅に近く多方面の高校に進学します。進路指導を進める中で選択肢は多いのですが困ったときは東毛地区のある高校に相談します。理由は融通が利く事と、入学後の面倒見が良いという事です。育英高校も幅広い層の生徒が輝いている学校であるとアピールすべきです。

A、金子 登先生(S57卒)  
幅広い層への配慮も大事だが、ブランド力を高めればしつかりとした実力のある生徒が入ってくるはず。レベルを下げる必要はないと思います。評定は多少低くても人柄がよく、高校で絶対に伸びるであろうと思われる生徒もいます。そんな生徒も

生かせる道を作って欲しいです。

竹淵副校長 今まで育英高校の教員が行っている中学校訪問を更に進化させるつもりです。これからは更に中学校との繋がりを密にして、私学の特徴を伝え中学校の意向を聞くという関係を構築する必要があります。訪問の時間帯についても、中学校側の都合を重視すべきです。

Q、育英高校のブランド力について発言は自由をお願いします。

A、スポーツは確かなブランド力がありますが、進学面についてもさらにブランド力を上げてほしいと思います。

A、スポーツ特進の充実だけではいけない。総合進学コースの生徒をどう伸ばしていくかも重要です。生徒指導の強化が大切です。

A、単願者の割合が低いので、各コースの特色をはっきりと打ち出し、どのレベルの生徒がどのコースでどう実力をつけていくか明確にすべきです。

A、サッカー・ラグビーは素晴らしい施設で、地域の拠点施設の役割も担っています。他のクラブも追随すべきだと思います。特に全国で活躍しているのに陸上部の練習環境は良くない。私立は施設がよいというイメージがあります。施設が充実すれば受験生が増大するわけではないが、見た目も重要で、すばらしい設備を見ればここで頑張りたいと思うのは自然です。

ありがとうございます。

まずは各先生方の益々の御活躍をお祈りし、また機会がありましたら母校発展のため意見を聞かせていただけたらと思います。

広報室

第二体育館の思い出

三川 高

育英高校を定年退職する三年ほど前、体育館の片隅から物凄いギター音が響いていた。軽音楽部の練習ステージの上にもギターを手にした部員が座っていた。その轟音が響く中でバレーボール練習を続けていたことを思い出す。

## 第二体育館の思い出

三川 高

育英高校を定年退職する三年ほど前、体育館の片隅から物凄いギター音が響いていた。軽音楽部の練習ステージの上にもギターを手にした部員が座っていた。その轟音が響く中でバレーボール練習を続けていたことを思い出す。

育英高校の沿革を見ると昭和四十二年六月十日、体育館兼講堂竣工とあり、卒業した私の記憶

育英高校を定年退職する三年ほど前、体育館の片隅から物凄いギター音が響いていた。軽音楽部の練習ステージの上にもギターを手にした部員が座っていた。その轟音が響く中でバレーボール練習を続けていたことを思い出す。

## 進路

〜きつと見つかる、色んな夢〜

## 過去3年間進路実績

大学合格者数  
**1,255名**  
(現役1,157名)国公立大学合格者数  
**122名**  
(現役105名)私立大学合格者数  
**1,133名**  
(現役1,052名)

## キャリア教育

4月は進路指導部より主に卒業後の現在の深刻な状況に関する講演を、9月にはハローワークの職員の方に来て頂き、類型別に「就職に向けての心掛け及び求められる人材」についての講演をして頂きました。また、11月には1〜2年でLHRの時間を使い、各クラス担任による「職業の種類」についての授業を実施しました。

## 進学合宿



新潟県のニューグリーニア津南での実施も三回目を数え、今年は7月21日〜24日の日程で実施しました。昨年を上回る81名の参加生徒の意識が高く、全員が実のある充実した自学自習の時間を送ることが出来ました。特に今年度より難関大学の受験を控えた三年生も合流したこと、二年生はとも良い刺激を受けていました。生徒の感想文にも達成感・自己の再発見・受験への抱負など、これからの学習姿勢をとる内容が多く見られました。

## 進路ガイダンス

三年生は6月、1〜2年生は11月に県内外を代表する大学・短大、専門学校等の教職員を招き、全体会・各分野別講義(二人2講座)といった時間割で実施しました。内容は各学年の実態に合わせたものでしたが、各学年とも大学、短大、専門学校や就職、公務員希望と生徒の希望分野に対応した講義構成だったため、生徒にとっては希望大学の先生の生の声が聞けるとあって、講義終了後も質問の生徒で賑わっていました。

## 大学見学



10月12日、秋休みを利用し、普通科は首都圏の大学、保育科は育英短期大学の見学に行きました。普段個人では見ることが出来ない大学独特の施設巡りや、そこで学ぶ学生の説明を直接聞くなど、貴重な体験をしました。またお昼は大学の学食で大学生と共にランチタイムを過ごし、学生から生の声を聞くことも出来ました。また、筑波大学では本校卒業生との懇談の場もあり、難関大学への精神的な距離も縮まり、新たな志を抱いた生徒もいた様子です。

主な体育館使用クラブは、バスケットボール、バレーボール部であったが、学校の規模が大きくなるにつれ、使用クラブも大幅に増えてきた。さらに雨天時には多くの部が使用し練習内容の変更を余儀なくされることもしばしばであった。

私の記憶の中で、印象に残っているものを挙げてみる。

一つめにバレーボール全盛時代に日本リーグで活躍した三洋電機が大泉町にあり、このチームと育英高校の体育館で対戦する機会に恵まれたが大敗をしたこと。

二つめは、全国大会優勝を三十三回以上成し遂げた群馬銀行バレーボール部の創設時代、週に二回は育英高校で練習をしていたこと。その厳しい練習の様子は今も記憶に残っている。

三つめは、東北や関東各県のチームと合同合宿をして切磋琢磨したことだ。

本校のOBが十数年もの間、夜の練習をしていたことや平成元年から始めた中学生を招待しての育英杯バレーボール大会も忘れることのできない思い出である。現在では十六チームが参加して活気

ある大会となっている。更に第一体育館の思い出として忘れることのできないのは鳩の糞に悩まされたことである。

最後にこの場をお借りし体育館に係わった大勢の皆様へ感謝申し上げることにする。



## おいでませ! 山口国体



昨年の千葉国体に引き続き、今年の山口国体でも育英メディカルで講師を務める栗原崇先生が群馬県陸上競技チームの帯同トレーナーとして朝から夜遅くまで選手のコンディション調整、アフターケアなど大忙しの活躍で選手を支えました。群馬県の陸上競技は四種目で優勝するなど、大活躍でしたが、育英メディカルの協力体制が選手団に与えた功績も甚大であったと思います。

## スポーツ実績 2011 Summer~Autumn

## バスケットボール部(男子)

全国高等学校総合体育大会  
・ベスト8

全国高等学校選抜優勝大会  
(ウィンターカップ)出場決定  
(2年連続6回目)

## 自転車競技部

全国高等学校総合体育大会  
・男子

・4km速度競争準決勝 中村匡宏(2-8) 出場

## 女子ソフト部

『東日本大震災復興支援事業』  
第24回古河市全国高校招待  
女子ソフトボールフェスティバル  
・3位

## 水泳部

全国高等学校総合体育大会  
・100mバタフライ 浮島直登(1-10) 6位入賞

## 国民体育大会

■少年男子B  
・100mバタフライ 浮島直登 優勝  
・100m自由形 原田啓徳(1-10) 6位

■少年男子  
・飛板飛込 後藤福寿(2-9) 5位  
・高飛込 後藤福寿 7位

■少年女子  
・高飛込 中村しづか(3-5) 6位

## 卓球部

全日本卓球選手権大会

(ジュニアの部)県予選

・工藤佑哉(2-2) 2位  
「天皇杯・皇后杯 平成23年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)」出場決定

## 軟式野球部

秋季関東高等学校軟式野球大会  
群馬県予選

・優勝(7年ぶり2回目)

## 弓道部

秋季中毛地区大会

■男子

団体 2位  
個人

・若林恭平(2-5) 優勝  
・藤間誠雪(1-8) 4位・新人賞(1年個人優勝)

■女子

団体 2位

## ウェイトリフティング部

全国高等学校女子ウェイトリフティング  
競技選手権大会

■女子

・48kg級 下阪春菜(3-B) 優勝

## 柔道部

全国高等学校総合体育大会

団体 5位

個人

・66kg級 三留宏之(3-11) 5位  
・73kg級 戸室三四郎(3-11) 出場  
・90kg級 佐々木崇行(3-10) 出場  
・100kg級 レイズカヨル(3-9) 2位

全日本ジュニア体重別選手権大会

男子 55kg級 箱田圭努(3-10) 第3位

## 陸上競技部

全国高等学校総合体育大会

■男子

・棒高跳 高橋祐介(3-5) 2位  
・円盤投 吉野順也(3-9) 4位  
・ハンマー投 栗林瑛一(3-10) 10位  
・学校対抗  
フィールドの部 1位(9年ぶり)  
総合 6位

## 国民体育大会

■少年男子A

・やり投 高橋 輝(3-9) 58m88 12位  
・ハンマー投 栗林瑛一 57m07 9位  
・円盤投 吉野順也 44m14 8位

## サッカー部(男子)

全国高等学校総合体育大会  
・ベスト8

## サッカー部(女子)

群馬県女子ユースU-18  
サッカー選手権大会 兼  
第15回関東女子ユースU-18  
サッカー選手権大会群馬県予選  
・優勝  
第15回関東女子ユースU-18  
サッカー選手権大会への出場権獲得

## 剣道部(男子)

県高等学校剣道選手権大会  
・優勝



— 講師 —

根本樹宏先生

(株式会社ネモト 代表取締役)

明治大学政経学部卒業後、民間企業での様々な職歴を経て、現在、神経心理学や認知行動療法を専門領域とするカウンセラーとして、高校生や保護者への講演活動をされています。

今回の講演は、(株)ネモトの代表取締役根本樹宏さんを講師に迎え、「キャリア・ガイダンス」という内容で講演を行っていただきました。「くあなた、そんなことして食っていきけるのか。子供を海のもくずにしないうために」という厳しい題目で講演は始まりました。

「就職の現実を知る」「職業能力を考える」「社会は人というのはいき詰まってしまうと、職業能力を考えると最終手段として知人等を頼ってしまう。しかし自分自身が自分の能力を引き出せないのに他人に引き出してもらおうとしがちですが解決には結び付きません。この厳しい現状、自分で自分を磨かなくては社会で生き抜いて行くのは難しいのです。」

## 進路講演会

### 進路講演会を終えて

進路指導委員長

富澤 典子

若者をどう見ているか」と三項目に分けて分析し現状を見つめながら解りやすく説明していただきました。私達、高校生の子どもを持つ親としてこの様な問題を目前にして考えさせられることばかりです。

## 進路講演会



一学年委員長 赤木 由美子

8月6日、根本先生をお迎えして進路講演をして頂きました。社会経済の変化から就職できない若者社会がどのような人材を求め必要としているのか資料やデータ、そして根本先生の体験や考えなどを語って頂きました。

大学に進学しても中途退学をする子どもが増えている現状の理由が、高校まで親が何でも決めていた為、現実感がなく、自分から意思決定が出来なくなり中途退学してしまうと言う内容には少し驚きましたが、考えてみると親が子どもを思い、良い道を歩かせてあげようと思っ

又、就職の面接で挨拶が出来ない、コミュニケーション能力がないなど、出来て当たり前なのでは？と思う事が出来ていないなど、今の若者の現実を改めて知りました。根本先生のお話を聞かせて頂き、親として子どもの将来に向け、より良い道標になりました。

進路指導主任 金子 雅人

激しい社会の変化に対応できる能力や主体的に自己の進路を決定する能力を養い、社会人・職業人として自立していくことができるようにするのがキャリア教育の主旨です。しかし、最も大切な事は、将来の目標を決めることです。そのためにも家庭でお子さんの将来について語り合うことが必要ではないでしょうか。



## 秋の合同研修視察

初日はあいにくの雨にもめげず、参加者35名は歴史の重みを感じさせる東京大学本郷キャンパスおよび浅草界隈を熱心に散策しました。翌日は天候も回復し、海ほたるにて東京湾を見学。その後、千葉市に昨年建てられたホキ美術館で写真よりリアルな写真絵画に驚かされました。2日間にわたる収穫の多い研修視察でした。



浅草 浅草寺境内



東京湾 海ほたる

## 中毛地区高P連

### 中毛地区高P連研究集会

文化副委員長 吉井 美晴

10月12日(水)前橋市民文化会館にて中毛地区高P連指導者研究集会が開催され、19校から200名を超える参加者が集い、各校特色ある発表を行い有意義な会となりました。

PTAの研究協議だけでなく、高校生による意見発表は素晴らしく、テーマの決め方、資料の作り方、発表時の姿勢のどれをとっても完成度が高く感動し、会場からは温かな拍手が送られ和やかな雰囲気です幕を閉じました。

## マナーアップ

県下一斉  
マナーアップ運動に伴う  
交通及び通学指導に参加して

体育副委員長 中村 みゆき  
県下高校において毎年数回実施されているこの運動に前橋育英高校も担当の先生方や保護者会役員が参加協力し指導を行っています。登校時刻に合わせ八時か

ら開始し新前橋駅付近や学校周辺の交差点など十ヶ所に分散し安全確認を行います。時には注意しますが朝の挨拶をすすがしく交わす事が多く、子どもたちの安全を見守ることがほとんどです。

一人ひとりが交通ルールを守り、すべての子どもが日々安全に登下校出来ることを願うばかりです。



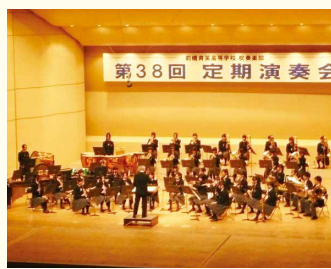
9月15日にマナーアップ運動が行われました。

## 吹奏楽部

第38回  
定期演奏会を  
終えて

顧問 熊井 正之

去る九月二十三日、前橋市民文化会館で第三十八回定期演奏会を開催しました。当日は七〇〇名を超える方々にご来場頂き、盛大な演奏会となりました。さて、今年はコンク



ルで三年連続県代表に選出された自負もあり、部員達の意欲や情熱も非常に強く、その熱い気持ちを本番の舞台で存分に発揮することができたと確信しています。

三年生は引退となりますが、今後は後輩たちがその情熱や伝統を引き継ぎ、より一層の部の発展と音楽性・人間性の向上に励んでいくものと信じております。

スポーツレクリエーション交流会  
爽やかな汗を!!

総務委員長 岡田 賢司

毎年の恒例行事となっており、スポーツレクリエーション交流会の報告と、来年に向けた勧誘です。

この《スポレク》は「先生・保護者会・保護者会OB」のチーム対抗形式にて「ソフトバレー」と「ユニカール」と言う2種類のゲームを参加者全員で楽しみます。

『ソフトバレー』は、その名の通り柔らかいボールを使用する易しいバレーです。『ユニカール』は、カーリングをとても簡単な内容に改良した誰もが気軽にプレー出来るゲームです。

皆さん!たまには自分の体のためにも、楽しく笑いながら爽やかな汗をかきましょう!!この《スポレク》の目指すところは、遊びを通して保護者

の皆さんが、学年を超えて親睦を深めてもらいたい!!という、子ども心のような単純なものです。来年も皆さんの参加をお待ちしております。



## 前橋祭り生徒指導

生徒指導委員長 佐藤 久美

十月八日、前橋祭りの巡視を行いました。先生方、役員の方々と三班に分かれ市役所から出発しました。心配していた雨にも降られず、祭りは行われましたが、例年よりも人出が少なかったようです。巡視中、本校生徒数人に会い、主に服装の乱れ等がないか確認しました。

巡視を行う事により、生徒の意識も変わり、安全確保にも繋がっていくので、今後も生徒指導の一環として、続けて行きたいと思っております。

## 新生徒会役員 決まりました



※前列右から 会長 横堀ゆう(2-1)、副会長 町田直樹(2-3)、副会長 浅見彩織(2-A)、副会長 森田幸宏(1-4)、書記 坂庭妃奈(2-2)、書記 徳竹奈津季(1-3)

※後列右から 書記 下田健太(1-4)、会計 水江寿彰(2-4)、会計 山田未実(1-A)、会計 深須咲見(1-B)、会計監査 小泉朋矢(1-8)、会計監査 森村純輝(1-8)

## 「第61回全国高P連大会」に参加して

文化副委員長 松村 由美子

北海道大会には竹淵副校長をはじめ6名で参加させて頂きました。大会会場は「北海きたえーる」香山リカ氏による「生きる力をつける処方箋」という講演でした。家庭での環境作り、自分探しの魅力、落とし穴など教育問題をはじめ、心の問題を中心とした講演はとても勉強になりました。

又、高校生による吹奏楽・太鼓・南中ソーラン・よさこいソーラン節など迫力のある演技を拝見させて頂き、高

校生の活力を感じる事ができ、とても良い研修に参加する事が出来て良かったです。



前橋育英

雄渾

同窓会  
だより

## 初心

同窓会長 新井 信雄  
(第3期生・昭和42年度卒)

このたびの東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。一日も早い日常生活の回復と復興をお祈り申し上げます。

昭和47年母校の前橋育英高校に保健体育教諭として着任、同年柔道部顧問として、平成22年3月、38年間の教師生活を終了。現在、育英メデイカル専門学校に勤務させて頂き、学生と共に明るく、時を過ごしております。

今回、役員改正で、同窓会長を仰せ付かりました、私の同窓会の仕事として  
(一)同窓会組織の強化。  
(二)同窓会会館の建設。  
(三)親子二代の同窓生も増え、今後の育英発展の源となる力を同窓会にご協力を賜りたいと思います。

平成25年に50周年を迎え卒業生も2万人を超え、名実共に私学として群馬県で大きな存在となっております。

野球部「センバツ」甲子園出場、サッカー、バスケット、柔道が全国大会で活躍しております。指導者、保護者の皆様に感謝申し上げます。育英の「初心」を忘れず今後も、恩師、家族、友人の励まし、支え、出会いや勇気。同窓会員の皆様、母校の為、厳しい状況の中、一緒に歩んで参りたいと思います。

## 親子二代同窓生

大淵 奈々子 (第26期生)  
実佳子 (第48期生)

皆さん、こんにちは。育英高校を卒業して20年。私は現在、

## 退任のあいさつ

関根 映一

(第1期生・昭和40年度卒)



同窓会員の皆様、お元気でしょうか？ 日頃から物心両面にわたり御支援をいただき、心より感謝申し上げます。さて、私、夏の同窓会、役員会総会において退任をさせて頂きました。長期にわたり、御協力、御支援をいただき本当にありがとうございました。思い返せば、同窓会役員、同窓会長として約30年間、会員の

看護師として忙しい毎日を送っています。在校時は保育科で学んでいましたが、保育科での学習で福祉などを学んでいるうちに看護の道に興味を持つようになり、高校卒業後は看護の道へ進むため、看護学校へ進学しました。当時、育英高校の保育科で学んだたくさんのことは、今でも私の基礎となっていると思っています。

部活動では吹奏楽部に所属し、アルト・サクソスを担当していました。練習に明け暮れる毎日でしたが、コンクールで金賞をいただき、県代表として山梨での大会で演奏できたことや、定期演奏会は高校生活の中でも特に大きな思い出となっています。昨年の春から長

皆様を始め、先生方、理事、評議員の皆様、そして何よりも中村名誉理事長、息子さんの理事長様、また、役員の皆様にはひとかたならぬ御支援をいただき、無事に後任の新井先生へバトンタッチができました。感謝申し上げます。新同窓会長の新井先生は御存知の通り、育英高校一筋の立派な人格者であります。皆で盛りたてていきたいと思っています。

ところで、私は、同窓会長としては4代目にあたります。初代井上、二代柳沢、三代宮沢さんで、私を含め一期生です。同様に、役員の人達もほとんど同世代の方々でした。それ故、続く後輩をどう育てていくか、また、母校を更に発展させていくにはどうしたらいいか、絶えず考えておりました。悩みながら新たな挑戦を続け

女も保育科に入学することができ、私が当時お世話になっていた先生方に長女もお世話になっていきます。まだ幼い子供と思っていました。あつという間に私の母校の在校生となつているのですから子供の成長は早いものです。

今は保護者会に参加させていただき、役員として行事などで育英高校に行く機会が度々あり、変わらない校内の様子を見て懐かしう当時を思い出しながらも、新しく変わっていく母校に新鮮な思いを感じています。また、保護者会の役員の方々が皆さん良い方ばかりで、いろいろ教えていただき楽しく活動させていただいています。

てまいりましたが、やはり、それには新聞の発行、卒業生の名簿づくり、記念行事の運営、クラブ活動の支援等、継続の中にも内容の充実を図ることが大事と考えました。

さまざまな行事、卒業式、入学式、同窓会入会式、同窓会館建設へ向けての支援等々、沢山の思い出を創らせていただきました。特に代々の校長先生、事務長さん、職員の皆様にしてお世話になりました。ありがとうございました。

私達は、まもなく本格的な高齢化人口の一員となります。育英高校も親子二代の卒業生を出し、あと数年で親子三代になるかと思えます。その時、私達は、生涯青春でありたい。希望を持ち続けたいと思っております。

終わりに、「文武両道」を目指す我が母校の更なる発展を祈念して、退任のあいさつと致します。ありがとうございました。

## 私の近況報告

ホテルオークラアムステルダム  
羽鳥 千里 (第44期生)

お久しぶりです。7月からホテルオークラアムステルダム(オランダ)の山里と

いう和食レストランで働かせていただいております。こちらに来てもうすぐ4か月が経とうとしています。お客様の9割は外国人なので料理の食材、調理法、味付け・・・を英語で説明して頑張っています。

周りは留学経験ある子が多く、英語ができなくて毎日毎日怒られてますが、悔し涙を流す毎日です。

でも最近はお客様と普通の英会話をできるようになり、私の名前を覚えて帰ってくるお客様もいます。

日本人専用の寮に住み、休みの日は先輩や同期とご飯を食べたりして楽しんでます。しかしどうしても日本人同士で固まりがちなので、落ち着いたら英会話学校に通って外国人のお友達を作ったりしたいと思っています。



# 後援会だより

## 日本人の心の絆と育英の絆

前橋育英高等学校 後援会長

前田 勇



3・11東日本大震災から9ヶ月余が過ぎても、地震、津波、原発事故の犠牲や被害の傷跡はまだまだ厳しいが、復旧・復興の足音は被災地はもとより、

全国から響き始めている。それは人間の「負けてはいられない」という根性と前向きなチャレンジ精神から生まれるのだと思う。人間同士が信じあう「絆」があればこそである。現代の飽食の時代と核家族化、そして誤った個人主義が他人への思いやりや助け合いの心を日本人から失わせつつあった。しかし、今度の大地震は、利他の心なくしては立ち上

がれないのであって、日本人の本來持っていた「絆」が自然な形で湧出したのだと思っている。

前橋育英高校でも、被災地出身の生徒への経済的支援（授業料の免除）を行っているが、その一例である。

さて話は変わるが、前橋育英高校では創立50周年記念事業として第一体育館の建て替え工事が12月に着工し、24年夏頃には竣工予定と聞く。記念誌の編纂も始まる。25年の秋には、満50周年の式典が予定されているとのことである。まさに前橋育英高校の教職員、同窓会、保護者会、後援会、現役生徒のオール育英の「絆」を発揮して、歴史と伝統をしつかり噛み締めたと思う。

## 高校創立50周年を記念し

### 新体育館建設へ

平成25年の高校創立50周年を目前に、新体育館の建設工事が始まります。

既に設計図面も仕上り、完成予想図や縮尺模型なども完成（玄関ホール、ガラスケース内に展示）、着工が待たれているところです。

新体育館は、バスケットコート2面、バレーコート2面が取れ、二階には、多目



的室やジョギングコースなども設けられる予定です。後援会としても、生徒の皆さんが充実した、体育、スポーツ活動が出来るよう、新体育館完成に向け、物心両面で支援していきます。



新体育館完成予想模型

## 今年度の優秀育英生を表彰

後援会の「優秀育英生表彰規則」により、文化・スポーツ等で、全国・国際大会レベルで一定の功績のあった生徒を表彰しました。



表彰式は、11月14日（月）に会議室にて行われ、後援会長・学校長より賞状と記念品が授与されました。表彰された生徒は以下のとおりです。

- ウエイトリフティング部 下阪春菜（3-B）第13回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会 48kg級優勝
- 水泳部 浮島直登（1-10）第66回国民体育大会おいでませ！山口国体水泳競技 少年男子B 1000m バタフライ優勝
- 吹奏楽部 第17回西関東吹奏楽コンクール 高等学校B部門銅賞

以上の皆さんでした。おめでとうございました。

## 合同研修旅行

今年度は東京へ、東大本郷キャンパスを中心に

今年度の合同研修会（後援会、同窓会、保護者会、学園協力会、退職教職員の会、本部・高校共催）は、錦秋の11月19日（土）と20日（日）の両日実施されました。

35名の参加者は、学園バスで一路東京へ、今年の研修先は何と「東京大学・本郷キャンパス」、育英生がこぞって東大を受験する日を思い描いて、構内を見学してきました。

さらに、東京湾アクアラインを抜け木更津へ、ここで一泊、翌日は「ホキ美術館」にて、美的教養を深め、和やかに楽しい研修旅行となりました。



千葉 ホキ美術館



東京大学 本郷キャンパス

## コラム育英

### 「生きる力」

3月11日のことは忘れることが出来ない。

東北地方を襲った巨大地震と大津波、それに追い打ちをかけた、東京電力福島第一原発の水素爆発と放射能の拡散、半年以上経っても未だその被害は拡大し収まる気配がない。「生命」の尊さと危うさを実感せざるを得ない。特に子どもたちの将来が案じられる。

幸い群馬には、安心して学べる子どもたちの日常がある。学力と体力を身につけ、日に日に成長していく子どもたちの姿を見られることは、親は勿論、周囲の大人にとっても、何より嬉しいことである。

そんな子どもたちの姿を見ていると、「生きる力」というものを強く感じる。まさにその力こそ、学力や体力を養う源であらう。

自分を信じて日々励んで欲しい。3月11日のことを忘れずに……。 (S記)



# Science Partnership Project (文部科学省主催)

## 研究Ⅰ 香りは物質のエッセンス ～白檀の有効成分を探る～

埼玉大学大学院と連携、7月26、27、29日に  
埼玉大学理工学研究科及び本校にて実施。

香りは物質の構造を決めるエッセンスであることを  
視覚および嗅覚で理解した。  
また、白檀を用いて香り成分を抽出し、有効成分を探った。



### 1年1組 酒井 某有

長谷川先生の講義は、まだ化学・物理や生物に  
慣れていない私にとってとても難しい内容でした。  
しかし、話しの途中で色々な香りを持つ化学物質  
をかき分ける体験をさせていただいたので最後まで  
楽しく集中して聞けました。今回の実験テーマを通じて、白檀  
の香り成分を取り出す方法にもたくさんの種類があることや、取り  
出し方によって香りが異なることを学びました。また、大学には  
高価で高性能で操作の難しい機械や装置があることなど驚きで  
いっぱいでした。3日間という短い期間でしたが有意義な時間を  
過ごすことが出来ました。

## 研究Ⅱ 遺伝子の本体 DNAのもつもう一つの顔 ～畏～

群馬大学大学院と連携、8月11～12、24日に本校及び  
群大大学院桐生キャンパスにて実施。

「デオキシリボ核酸(DNA)」を「機能性を持つ化学物質」ととらえ、  
その特性を研究し、選択能をもつ発ガン物質吸着剤として  
可能性があることを示唆した。



### 1年1組 茂木 美佑奈

戸惑うこともたくさんあったが、とてもよい貴重な経験がで  
きた。特に土橋先生のお話は、難しい部分もあったが、とても  
興味深く面白いものであった。私もこれからたくさん学んで、  
土橋先生のお話をよく理解できるように、化学をより深く知る  
ことができるように頑張ろうと思う。化学物質としてのDNAが、コバルトイオ  
ンと反応してゲル化、しかも小さな球体のゲル粒子になって特定物質を吸着し  
たりと、普段知られている生物に関わるDNAとはまた違ったDNAの一面を見  
ることができた。また、DNAだけでなく、ゲルや遺伝子病について知ること  
もできたので、知識の世界が広がった。この知識を将来の生活の中で生かしてい  
きたい、世界でのDNAの活躍の場をもっと広げていきたい、そう思った。

## 成果発表会のご案内

是非とも本校生徒の発表をご覧ください。

## SSH・SPP等合同成果発表会

- 開催日 平成24年3月17日(土)
- 場 所 桐生市民文化会館(桐生市)

## 軟式野球部

## 秋季関東高校野球大会

を終えて

軟式野球部部長 茂木 良久



秋季大会では前商に勝利し  
優勝。第52回関東高校軟式野球  
大会に群馬県1位として乗り込  
んだ。士気は高く  
チームの雰囲気も  
和やかな中で1回  
戦、栃木の文星芸  
大附と対戦した。  
こちらもそうだが  
相手も硬式は甲子  
園チーム。侮れな  
いと慎重に試合を  
進めた結果、ノー  
ヒットノーランで  
シャットアウト、  
久しぶりに関東で

の勝ち星を掴んだ。2回戦では  
千葉商大付と対戦し、僅かなミ  
スから大量得点を許して惨敗、  
関東に忘れ物を残した。

主将 佐野 哲(2-1)

新チームになって初の関東大  
会。一回戦の文星芸大附戦では  
エース宮野がノーヒットノーラ  
ンを達成し、勝利した。そんな  
彼を擁する私達でも敗れた二回  
戦の千葉商大付戦。実際、勝て  
ない相手ではな  
かった。しか  
し、関東のレベ  
ルの高さを改め  
て感じた。春の  
大会では今回の  
悔しさをバネに  
「優勝」という忘  
れ物を取りに行  
きたい。

### 試合結果

|       |            |
|-------|------------|
| 1回戦 対 | 文星芸大附属(栃木) |
|       | 6-0        |
| 2回戦 対 | 千葉商大付属(千葉) |
|       | 0-10       |

## 群馬教育書道展



第65回記念群  
馬教育書道展  
に、書道選択者  
および書道部の  
生徒総勢248  
名が出品し、優  
良団体賞さらに  
3名の生徒が特  
別賞を受賞しま  
した。

◎群馬県高等学校教育研究会  
書道部会長賞

村山 愛美(1-B)

◎群馬県書写書道教育研究会  
会長賞

広井 葉月(2-3)

◎群馬県書道教会 奨励賞

前田 朝美(1-4)

## 保育科観劇教室

保育科では、9月9日、劇団た  
んぽぽによる観劇教室を行いま  
した。

演目は、おはなしあのかね「かめ  
のヘンリー」しりとりなサイ  
という幼児向けのものですが、  
幼児教育者を目指す者にとって、  
児童文化や保育技術の向上に役  
立つ有意義な内容でした。

特に3年生は1月の保育科発  
表会でマスクブレイの発表を控  
えているだけに、

小道具の扱い方  
や演じる者の間  
の取り方、子供  
たちを引きつけ  
るための工夫な  
どたいへん参考  
になりました。



## 第59回全国私学教育研究集会

教頭 高瀬 元彦

去る10月27・28日の2日間に  
わたり、全国の私立学校関係者  
430名が群馬に集い、「日本の  
未来を拓く私学教育」をメイン  
テーマに新しい時代に対応する  
特色ある教育を展開するための  
研修を行った。

1日目の全体集会では群馬交響  
楽団の常任理事・五十嵐靖男氏による  
記念講演と演奏が群馬音楽セン  
ターで開かれ、多くの参加者と保護  
者はその演奏に引き込まれた。

## 男子バスケット部

## ウィンターカップ

男子バスケット部監督 安西 智和

まずは本年度のウィンターカ  
ップ出場権を獲得したことをご  
報告するとともに、感謝を申し  
上げます。

昨夏のインターハイでベスト  
16入り、さらに今夏では強豪・北  
陸高校を撃破してベスト8入り  
を果たしました。日々進化を続  
けるバスケット部にとって、目指  
すところは頂点のみ。ウィンタ  
ーカップでは大暴れします。

三年生にとって集大成となる  
この大会。気力・体力・技術力す  
べてを充実させ、魂をこめて  
試合に挑みたいと思います。

皆様のご声援、よろしくお願  
い致します。



## 編集後記

保護者会文化委員長

片貝 ひさ子



2日目では分科会に分かれ、  
私学経営部会を担当した。育英  
高校からは竹淵副校長による  
「学校組織の活性化をめざして」  
とした実践報告が行われた。今  
後の私学の  
質の向上が  
求められ、そ  
のあり方を  
模索する1  
日となった。

## 合同紙広報委員

保護者会

片貝 ひさ子

松村 由美子

後藤 香織

須藤 勝美

吉井 美晴

阿久津 広嗣

城田 博巳

渡邊 真美

竹淵 幸祐

阿久津 幸祐

安達 友信

岡上 直美

阿部 翔太

宮澤 千春

高学後同  
校園会会  
" " " " " " " "